

山口省蔵が訊く

金融業界の課題を読み解く

熱い!! 金融対談



第68回 FinTech と既存の金融機関を連携させたステイツマン

神田 潤一（ゲスト）× 山口 省蔵（聞き手）

本連載は、金融業界における課題をテーマに、「熱い金融マン協会」を主宰する山口省蔵氏による識者との対談をお伝えするものである。

今回は、衆議院議員の神田潤一氏を訪ね、日本銀行時代のリーマンショック対応や金融庁時代の「ゴジロ」推進の話を中心に、熱い金融人生について対談を行った。

小学生の時に合唱で日本一になる

山口 どちらのご出身で、どのような子供時代でしたか。

神田 生まれは青森県八戸市です。高校卒業まで、八戸で両親と2歳下の弟、祖母と暮らしていました。身体を動かすのが好きで、転機が訪れたのは八戸市立図南小学校時代の合唱部です。私は野球部に入るつもりでしたが、仲良しだった友人が「合唱部に入る」と言い出して、同じ部を選びました。

日本一を目指す部でしたので、朝も夕方も厳しい練習をしました。体力作りとして、腕立

東大で箱根駅伝を目指す

山口 合唱はその後も続けられたのですか。

神田 いえ、小学校だけです。もともと運動がしたかったもので、中学校では陸上部に入り、大学まで続けました。中学2年生の冬から、「来年は県で1位をとる」と決めて真剣に取り組み、3年生の3000mの県大会で初優勝しました。合唱部での経験から、練習すれば成績が上がる実感があったからだと思います。その勢いで、高校2年生と3年生の時に県大会で優勝しました。3年生の時は、日本

一を目指したのですが、インターハイ8位の結果でした。

山口 全国で8番ですか。大学なら、箱根駅伝に出られる位置ですよ。

神田 そうですね。早稲田大学や駒澤大学といった当時の駅伝有名校を含め、15校くらいから推薦入学の勧誘が来ました。しかし、すべて断って、東京大学を受験しました。

東大は1984年に1度だけ箱根駅伝に出たことがありました。私が東大を受験するという噂を知って、受験前に東大陸上部から「神田君と一緒に2回目の箱根駅伝を目指したい」という手紙が届いたのです。それを読んで、「東大で箱根に出るぞ」とやる気も上がり、合格することができました。東大では、1500mで全国3位になりました。当時、東大が箱根駅伝に出た1984年の60回記念大会で出場校が5校増えており、70回記念大会も5校増えるだろうと予想されていました。私が4年間で卒業すると1993年卒業でしたので、1年生の頃から先輩には「留年して箱根を目指せ」と言われ続けていました。19

94年は予想どおり、出場校が5枠増えました。しかし、留年してまで挑戦した東大での箱根駅伝の出場は叶いませんでした。ただ、私の弟が慶應義塾大学の陸上部で箱根駅伝の一役を走り、応援には行きました。

神田 若い頃は国際局で、海外市場調査の仕事に就きます。また、「留学したい」と思い、日銀内での留学試験を受けました。1次試験のTOEICをギリギリの点数でパスし、2次試験の論文では、その年、日銀法の改正があったので、「ここが出る」と、ヤマを張って準備をしていました。改正内容を整理し、それに対して、これから日銀はどうあるべきか、自分はどうのように働いていきたいかをまとめたところ、出題はまさに予想どおりのテーマで、すらすらと書くことができました。その後の面接で、「神田君はあの論文をどのように書いたのか」と問われて、日銀法改正に的を絞って準備していたことを正直に説明しました。私の論文は非常に評価が高く、選考担当者の中でもどのように書いたか話題だったそうです。

山口 留学先はどちらですか。
神田 米国イェール大学の国際開発経済専攻です。同期とアパートをシェアして住み、クラスメイトを招いてピザとビールのパーティーをよく開いていましたね。この留学を通して、この国の誰とでも仲良くなれる自信ができました。

山口 留学から戻られてからの仕事はどうでしたか。
神田 システム情報局の総合調整という部署で、システム情報局と他局との調整を行う仕事を4年間担当しました。様々な人々と信頼関係を築きながら、仕事に取り組んでいくことの大切さを学びました。その後、金融機構局に異動になり、日本生命への2年間の出向を含めて、2004年から2015年の11年間在籍しました。

山口 金融機構局内のだちらの部署ですか。
神田 証券・外銀グループに3年おり、その後、査査に移りました。1年間ほど、信金や地銀の査査に行き、やりがいを感じ始めた2008年、リーマンショックが起きました。証券・外銀グループから、「リーマンが破綻する。これから外資系金融機関の資金繰りが大変になるから戻ってほしい」と言われ、2008年9月から翌年の3月末まで、外資系の証券会社・銀行の資金繰りを取りまとめる調査役を務めました。外資系金融機関の資金繰りのミスが国際的な金融不安に結びつく可能性があります。毎朝出勤すると、担当者以外資系金融機関への電話による情報収集を指示し、少しでも気になる動きがあれば、私自身が電話で確認しました。年末を越えるまでの3カ月間は、14時までに情報収集の結果を関係者にメールで共有し、夕方には担当理事へ報告する日々でした。加えて、毎日、補完貸付も何兆円という規模で実行していました。

山口 日本生命への出向はその後ですか。日銀から取引先でもない生命保険会社への出向は珍しいですね。
神田 2011年4月から2012年11月までです。日銀から日本生命への出向は、初めてのケースで、リスク管理を担当しました。生命保険会社は、保険契約（負債）と運用（資産）が数十年単位の長期に及び、また運用対象も不動産や株式、海外資産、オルタナティブ資産など幅広く、銀行とは違った面白さがありました。

神田 留年して箱根駅伝に挑戦する前に、日本銀行から内定をもらっていました。採用担当の方には「神田君、箱根駅伝に出られなかったら内定は取消しだよ」と言われており、予選会を終えて、出場できなかったことを伝えました。当時、「留年して箱根駅伝に挑戦する東大生」として何度もテレビに出ていたこともあり、「テレビにも出ている有名人の内定を取り消すわけにはいかない」と、半ばお情けで入れてもらいました。

山口 冗談がきつい採用担当ですね（笑）。
神田 米イエール大学の国際開発経済専攻です。同期とアパートをシェアして住み、クラスメイトを招いてピザとビールのパーティーをよく開いていましたね。この留学を通して、この国の誰とでも仲良くなれる自信ができました。

山口 留学から戻られてからの仕事はどうでしたか。
神田 システム情報局の総合調整という部署で、システム情報局と他局との調整を行う仕事を4年間担当しました。様々な人々と信頼関係を築きながら、仕事に取り組んでいくことの大切さを学びました。その後、金融機構局に異動になり、日本生命への2年間の出向を含めて、2004年から2015年の11年間在籍しました。

山口 金融機構局内のだちらの部署ですか。
神田 証券・外銀グループに3年おり、その後、査査に移りました。1年間ほど、信金や地銀の査査に行き、やりがいを感じ始めた2008年、リーマンショックが起きました。証券・外銀グループから、「リーマンが破綻する。これから外資系金融機関の資金繰りが大変になるから戻ってほしい」と言われ、2008年9月から翌年の3月末まで、外資系の証券会社・銀行の資金繰りを取りまとめる調査役を務めました。外資系金融機関の資金繰りのミスが国際的な金融不安に結びつく可能性があります。毎朝出勤すると、担当者以外資系金融機関への電話による情報収集を指示し、少しでも気になる動きがあれば、私自身が電話で確認しました。年末を越えるまでの3カ月間は、14時までに情報収集の結果を関係者にメールで共有し、夕方には担当理事へ報告する日々でした。加えて、毎日、補完貸付も何兆円という規模で実行していました。

山口 日本生命への出向はその後ですか。日銀から取引先でもない生命保険会社への出向は珍しいですね。
神田 2011年4月から2012年11月までです。日銀から日本生命への出向は、初めてのケースで、リスク管理を担当しました。生命保険会社は、保険契約（負債）と運用（資産）が数十年単位の長期に及び、また運用対象も不動産や株式、海外資産、オルタナティブ資産など幅広く、銀行とは違った面白さがありました。

日銀でリーマンショック に対応する

山口 日銀に入行後、どのような部署を経験されましたか。

山口 留学先はどちらですか。
神田 米イエール大学の国際開発経済専攻です。同期とアパートをシェアして住み、クラスメイトを招いてピザとビールのパーティーをよく開いていましたね。この留学を通して、この国の誰とでも仲良くなれる自信ができました。

山口 留学から戻られてからの仕事はどうでしたか。
神田 システム情報局の総合調整という部署で、システム情報局と他局との調整を行う仕事を4年間担当しました。様々な人々と信頼関係を築きながら、仕事に取り組んでいくことの大切さを学びました。その後、金融機構局に異動になり、日本生命への2年間の出向を含めて、2004年から2015年の11年間在籍しました。

山口 金融機構局内のだちらの部署ですか。
神田 証券・外銀グループに3年おり、その後、査査に移りました。1年間ほど、信金や地銀の査査に行き、やりがいを感じ始めた2008年、リーマンショックが起きました。証券・外銀グループから、「リーマンが破綻する。これから外資系金融機関の資金繰りが大変になるから戻ってほしい」と言われ、2008年9月から翌年の3月末まで、外資系の証券会社・銀行の資金繰りを取りまとめる調査役を務めました。外資系金融機関の資金繰りのミスが国際的な金融不安に結びつく可能性があります。毎朝出勤すると、担当者以外資系金融機関への電話による情報収集を指示し、少しでも気になる動きがあれば、私自身が電話で確認しました。年末を越えるまでの3カ月間は、14時までに情報収集の結果を関係者にメールで共有し、夕方には担当理事へ報告する日々でした。加えて、毎日、補完貸付も何兆円という規模で実行していました。

山口 日本生命への出向はその後ですか。日銀から取引先でもない生命保険会社への出向は珍しいですね。
神田 2011年4月から2012年11月までです。日銀から日本生命への出向は、初めてのケースで、リスク管理を担当しました。生命保険会社は、保険契約（負債）と運用（資産）が数十年単位の長期に及び、また運用対象も不動産や株式、海外資産、オルタナティブ資産など幅広く、銀行とは違った面白さがありました。



金融庁、FinTech 企業、金をつなぐべく奮闘した日々を振り返る神田氏

でしょうか。

神田 そうです。金融庁への出向は 2015 年 8 月から 2017 年 6 月までです。

山口 神田さんと私は、金融機構局でも一緒にいたと思いますが、特に鮮明に覚えているのは、金融庁に行かれてからで

のような仕事をされたのですか。

神田 再び考查を担当しました。メガバンクの海外拠点や外資系金融機関の考查に赴きましたね。メガバンクの考查では、対象先のロンドンの拠点に 1 週間滞在後、ニューヨークの拠点に 1 週間滞在して帰国するという日程で、2 週間で世界を一周していました。大変でしたが、金融の最先端の取組みに触れることが多く、面白かったです。

金融庁で FinTech 業界との橋渡しをする

山口 金融庁への出向はその後

し、ネットワークを築くことから始めました。

すると、「9 月末に FinTech 協会を立ち上げるので、お祝いの挨拶をしてください」と依頼されました。当時、FinTech を管轄する行政官庁がまだ曖昧な時期です。金融庁は「強面」のイメージが強かったもので、FinTech 業者側には「経済産業省に管轄してほしい」といった雰囲気がありました。しかし、FinTech と既存の金融機関の監督官庁が分かれると、両者が対立構造になってしまう懸念がありました。そこで、私は、FinTech 業界に対し、「金融庁は FinTech を推進・支援していきます」と伝えなくてはならないと考えていました。

FinTech 協会の式典が始まり、私の挨拶になると、場内がシーンと静まり返りました。「金融庁は FinTech を支援していきます」という原稿を読んでも、全く盛り上がりません。参加者の皆さんは半信半疑なわけですね。何とかこの空気を変えなくてはと思い、乾杯の音頭を頼まれた時に、オペラ『椿姫』の「乾杯の歌」の一節を歌ってから「お

めどうございます」と言ったら、たいへんな拍手をいただきました。その後、FinTech の会社となれば、私がよばれるようになり、金融庁が FinTech に関する政策を検討するための実情を聴取する時などには、私が FinTech 業界の人を連れてくる、という役割になりました。

山口 金融庁時代の神田さんがオペラを歌っている動画を見たことがありますよ。

FINSUM を立ち上げる

山口 FINSUM（フィンサム。FinTech Summit）を立ち上げたきっかけを教えてください。

神田 海外で行われていた FinTech 関係のイベントをみると、人材交流を促し、新しい動きを生む推進力になっていくと感じ、これを日本でも実現したいと考えました。もっとも、金融庁にそうした予算はないので、民間を巻き込もうと思いい、日本経済新聞社（日経）に話を持って行きました。

山口 神田さん 1 人で、ですか。
神田 最初は部下もついてこ



金融から変えながら官・民・政と立場を行政やFinTechに携わってきた神田氏の歩みを聞く山口氏

ず、私1人です。開催趣旨をまとめた1枚紙を手に、日経に乗り込んで説明すると、「いいですね。やりましょう」と快諾してもらいました。

山口 金融庁内部ではあらかじめ同意をとっていたのですか。

神田 当時の金融庁は、民間とそうしたイベントを開催したことがなく、「普通に企画しても通らない」と考えました。そのため、先に日経に相談して、「日経から持ち込まれた企画という形で話を進めてもよいですか」とお願いしたところ、了承をもらえましたので、金融庁内部で説明を始めました。すると、直属の上司からも、その上の局長

からも「前例がないから無理だ」と言われました。そこで、理解してくれそうな方のところに説明にいくと、「それなら、〇〇に相談してみたら」と、わらしべ長者のように次々と紹介してもらえました。「このような企画は、森（信親）長官（当時）が好きだと思う。私から話をしておくから、持っていくてみて」という方が現れて、森長官のところに行きました。

山口 直属のラインには伝えずにですか。

神田 伝えませんでした。

山口 サラリーマンにあるまじきやり方ですね（笑）。

神田 出向者でいずれいなくなる身でしたので、思い切って動くことができました。それで、森長官へ企画を持つていったところ「ぜひやるう」という話になりました。自分の部署ではリソースを割くことができないので、研修を担当する部署に手伝ってもらい、

運営面等は日経にお任せして、第1回は2016年9月に開催しました。

ところが、開催の前週に局長によばれて、「神田君、これは何か？」と聞かれました。「森長官から、このような企画をやるうと言っていたいたので、来週開催することになりました」と答えると、「私はやるなと言ったよね。何があつても、私の責任ではないからね」と言われました。

山口 おやおや。

神田 開催日当日は、オープニングで麻生（太郎）大臣（副総理兼財務大臣兼金融担当大臣。当時）にご挨拶いただきました。前日が麻生大臣ご本人の誕生日で、「かなり飲まれたから、来られないかもしれない」と聞いており、内心は不安だったのですが、お越しいただきました。ただ、まだ前日の余韻が残っているようでしたので、司会の方に「昨日が麻生大臣のお誕生日だったにもかかわらず、今日は朝からお越しいただきました」と一言添えてくださいとお願ひしました。すると、その一言をきっかけに、ご自身の誕生日の

お話から祖父である吉田茂や当時の安倍（晋三）総理の誕生日のお話になり、あらかじめ渡していた原稿を大きくはみ出す面白いお話が展開されました。15分くらいお話ししていたと思います。大臣秘書官から、「神田君、どうなってるの。5分と言ったよね。次の予定もあるのに」と怒られました。

その後も、麻生大臣は様々な場面で「ジーンパンにTシャツのFinTechの連中は、背広にネクタイの銀行の連中と、うまくやっているんですよ」という話をしてくれました。無茶をしましたが、開催して良かったと思います。

山口 FINSUMは今や大イベントになっていますね。

神田 最初は1日のイベントでした。今も金融庁のイベントとしては4日くらいですが、Japan FinTech Weekという形で、2週間ほどのイベントになっています。

山口 金融IT協会も参加させてもらっていますが、お祭り週間になっていますね。

神田 今は、私は直接関わってはいないのですが、ファウン

ダーとして毎年レセプションに
よばれています。

マネーフォワードで銀行 とのAPI連携を図る

山口 金融庁への出向を終えて
日銀に戻られた後、ほどなく退
職されたのですか。

神田 当初は、辞めるつもりは
ありませんでした。2017年
6月の異動で、「審査に戻るよ
うに」と言われました。前年に
日銀に設立された「FinTechセ
ンター」への異動をお願いした
のですが、「それはダメだ」と
言われました。「9月頃から考
査に配属となるので、それまで
の2カ月ほどは夏休みのつもり
で過ごしてよい」とも言われ、
時間ができたので、金融庁時代
にお世話になった方々へ挨拶に
伺いました。

すま、「FinTech」には携わ
らないのですか? 「日銀に戻っ
て審査ですか? それなら私た
ちと一緒にやりませんか」と、
行く先々で話を持ち掛けられま
した。FinTechは、まだ業界が
立ち上がったばかりで、取り組
むべきことがたくさんありまし

た。これほど多くのところから
「来てほしい」と言ってもらえ
るなら、「こちらで挑戦してみ
るのも面白い」と思い、日銀を
退職することにしました。

山口 いろいろとオフアワーが
あった中から、マネーフォワー
ドを選ばれたのはなぜですか。

神田 金融庁で携わっていた仕
事の中に、オープンAPIの推
進があります。オープンAPI
を一番しっかりと推進していこう
としていたのがマネーフォワー
ドで、これを自分の仕事として
続けたいと思いました。

山口 マネーフォワードでは、
どのような仕事をされていたの
でしょうか。

神田 マネーフォワードには4
年間在籍しました。最初の2年
は「暗号資産を担当してほしい。
ついでに、神田さんに社長を務
めてほしい」と言われ、マネー
フォワード・フィナンシャルと
いう子会社を立ち上げました。
暗号資産を基軸に金融や経済を
変えていこうというコンセプト
で設立した会社です。

ブロックチェーンの取引シス
テムを1年以上かけて開発して
いましたが、その後、コイン

チェックの暗号資産流出事件等
で金融庁の規制が厳しくなり、
ビジネスとしてペイするには相
当な時間を要すると判断しまし
た。議論の結果、この事業から
撤退することになり、私は責任
をとって辞めようと考えていま
した。

ところが、その頃、もともと
取り組みたいと思っていたオー
プンAPIが、いよいよ金融機
関と本格的に接続していく段階
となりました。まだ金融機関と
の交渉も残っていたところであ
ったが、「神田さんに携わってほ
しい」と言われて、そこから残
りの2年余り、API連携に注
力しました。

山口 金融機関とのAPI連携
の交渉ですね。神田さんがお願
いすれば、断られなかったのは
ないですか。

神田 そう簡単な話でもなく、
マネーフォワードがAPI経由
で顧客の口座情報を取得する場
合の手数料をどう設定するかと
いった、業界としての課題も
様々ありました。この分野につ
いてはマネーフォワードが先陣
を切っていましたので、その後
の金融機関とFinTech業界双方

の発展のためにも、最後までや
り遂げる必要がありました。

衆議院議員としても 金融・経済を軸にする

山口 マネーフォワードを退職
して、国会議員になられたのは、
なぜですか。

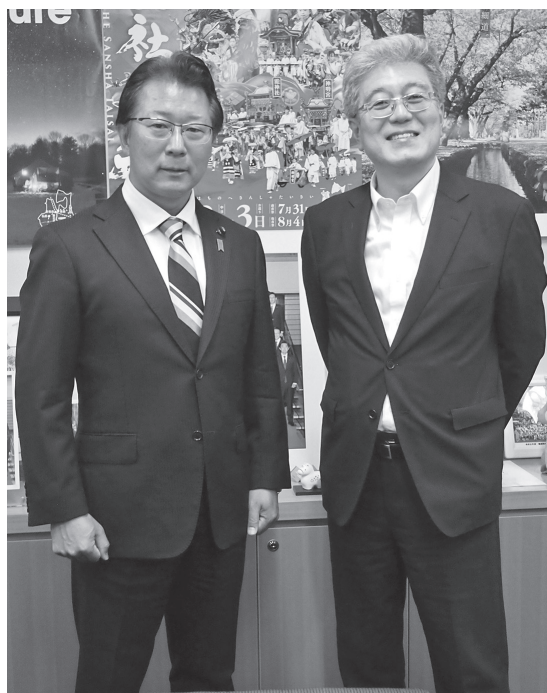
神田 大島理森先生から「引退
するので後継を任せたい」と言
われたことによります。

山口 大島さんは自民党の重鎮
でしたが、大島さんのほうから
お話があったのですか。

神田 そうです。大島先生は、
高校の先輩でした。中央官庁の
周りに同郷の人は多くなかった
ので、金融庁時代に飲み会によ
んでいただいたりしていました。
当時、大島先生は、現役の
衆議院議長でしたが、自身が元
気なうちに次に引き継ぐ決断を
されました。

山口 最初のお話があったのは
いつ頃ですか。

神田 2021年5月に、「2
人で飲もう」とよばれて、昔話
をいろいろと聞かせていただき
ました。その時に「大島先生は
引退されるのでは。辞められる



金融を取り巻く変化を柔軟に捉え、新たな挑戦を
続けてきた神田氏と熱い対談が行われた

のに私をよんで2人で飲むとい
うことは、私に後を継いでほし
いということなのかな」となん
となく感じました。6月に再び
大島先生によばれて、後継につ
いてはつきりとお話がありました。
8月末にマネーフォワード
を退職し、10月の最初の選挙で
衆議院議員になりました。

3期務めています。父について
は、困っている人を助ける仕事
を一生懸命していて、立派だな
と思っていました。しかし、私
は、共産党に入って議員になる
つもりはありませんでした。日
銀に内定をもらった時に、父か
ら「資本主義の巣窟みたいなと
ころに行つてはダメだ」と言わ
れましたが、私はそのまま人行
しました。大島先生は「父親は
共産党だったかもしれないが、
曾祖父までさかのばれば、も
もと保守だろう。そこに戻ると

思えばどうってことはない」と
言っていました。

山口 神田さんは、議員1期目
から内閣府の政務官（金融庁担
当を含む）、2期目には法務省
の政務官を務められています
ね。政務官とはどのような仕事
ですか。

神田 副大臣は大臣の補佐とい
う形です。政務官はどちらかと
いえば、事務次官と一緒に、党
と省庁をつなぐ役割だと思つて
います。

山口 最後に、議員としての思
いを教えてください。

神田 私は、議員になつて、政
策にしっかりと取り組みたいと
考え、当時の岸田（文雄）総理
に宏池会に入れていただきまし
た。資産運用立国の構想では、
政務官として金融庁を担当し、
NISA政策やJ-IFLEEC
（金融経済教育推進機構）設立
に携わりました。その後も、資
産運用立国議連の事務局を務め
ています。

今後、外交・安全保障ととも
に金融・経済を含めた両輪で、
社会を正しい方向に進めていき
たいと考えています。

山口 私自身も金融ITに関

わっています。今後も、ご一緒
する機会には、よろしく願ひ
します。

本日は、ありがとうございます。

プロフィール
（ゲスト）

かんだ・じゅんいち ●青森県八戸市出
身。1994年東京大学経済学部卒業。
同年日本銀行入行。2000年米国
イエール大学大学院修了。日本生命、
金融庁への出向を経て17年株式会社マ
ネーフォワード執行役員。金融庁時代
には、金融とITが融合する
「FinTech」分野の調査・企画を担当。
21年衆議院選挙青森2区に大島理森衆
議院議長の後継として立候補し当選。
その後、内閣府大臣政務官、法務大臣
政務官を歴任し現在3期目。金融・I
Tの専門家であると同時に、農林水産
業やエネルギー安全保障、外交・防衛
など幅広く取り組む。

（聞き手）

やまぐち・しょうぞう ●1987年日
本銀行入行後、金融機関の考査・モニ
タリング部署を中心に担当し、金融高
度化センター副センター長を経て、2
018年株式会社金融経営研究所を設
立。金融を通じた社会の発展を目的に
「熱い金融マン協会」を運営。特定非
営利活動法人金融IT協会理事長。（一
社）ちいきん会理事。